

平成18年度第1回ジフェニルアルシン酸に係る  
健康影響等についての臨床検討会議事要旨(案)

1. 日 時 : 平成18年6月7日(水) 14:00~16:00

2. 場 所 : 航空会館B101号会議室

3. 出席者 :

(検討会委員) 石井委員、岩崎委員、櫻井委員、土田委員、徳留委員、行武委員

(参 考 人) 平野参考人

(環 境 省) 環境保健部長、環境リスク評価室長他

(茨 城 県) 保健福祉部次長、保健予防課長、健康危機管理対策室長、  
潮来保健所、生活衛生課

(神 栖 市) 環境課地下水汚染対策室

4. 開会

5. 検討会での確認事項

平成17年度に引き続き、櫻井委員が座長として選出された。

平成17年度第3回検討会の議事要旨(案)を確認した。

6. 議事概要

(1) 医療手帳の申請について

緊急措置事業の実施状況について茨城県保健予防課より報告があった。

また、医療手帳交付の要検討事例について潮来保健所より説明があった。検討の結果、井戸水からジフェニルアルシン酸(DPAA)が検出され、生体試料からDPAAが検出された申請者6名をこの事業の対象とすることを確認し、生体試料からDPAAが検出されなかった1名をこの事業の対象外とすることが確認された。この結果、申請者552人のうち、対象者は152人、対象外の者は396人、分析調査中の者は4人となった。

(2) 健康診査について

医療手帳交付者に係る健康診査の実施状況及び指定医療機関等の追加指定について茨城県保健予防課より報告があった。

(3) 緊急措置事業における健康管理調査について

緊急措置事業の一部である健康管理調査について、平成18年6月で期限を迎えることから本調査の継続の必要性について御審議頂いた。その結果、DPAAの健康影響に関する症候及び病態については未解明な点が多く、更なる調査研究の推進が必要であるなどの理由から、平成18年7月以降も健康管理調査の継続が必要との御意見を頂いた。

(4) その他

ジフェニルアルシン酸等に係る健康影響に関する小児の症例について、茨城県保健予防課及び岩崎委員より報告があった。